

この時期に増える投稿について

夏休みがあったり、お祭りなどの楽しいイベントがあったりと、子どもたちが友人同士で遊びに出かける機会も増えるこの時期。そうした楽しい時間の記録を残そうと、SNSなどのインターネット上に遊びに出かけた様子を投稿する子どもたちもたくさんいます。しかし、中には不適切な投稿をしてしまう子どもたちもあり、見逃せない問題となっています。

不適切な投稿の例

不適切な投稿としてよく見られるのが、侵入禁止の場所に入ったり、撮影禁止の場所で記念撮影をしたりしているもの。遊泳禁止の海で泳いでいる様子を撮影したものや、映画館やコンサート会場などで撮影しているものを、SNSなどに投稿する子どもたちがよくいるのです。

また、飲酒や喫煙に関する投稿もよく見られます。飲酒や喫煙をしている様子の写真や動画を載せたり、「酔ったw」など、そうした行為をにおわせるような書き込みをしたりしているのです。

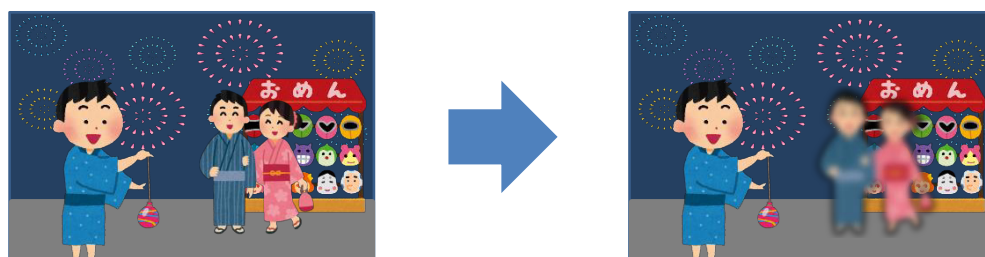
他にも、写真にお酒や灰皿が写り込んでいて、飲酒や喫煙をしていたことが読み取れるものもあります。



写真に一般の人が写り込んでしまうことも

他にも注意しておきたいのが、一般の人が写り込んでいる写真の投稿です。お祭りや花火大会などで撮った写真がよくSNSなどにも投稿されますが、その中に一般の人が写り込んでいるものがあるのです。そのような写真を投稿すると、写り込みの状態や場合によっては、投稿を見た第三者から非難のコメントが集まったり、写り込んでいる本人から損害賠償を請求されたりしてしまう可能性もあります。

こうしたトラブルにならないためにも、写真をインターネット上に投稿する際は、一般の人が写り込んでいないか確認し、写り込んでいる場合は解像度を落としたり、ぼかしやモザイクなどの画像処理をして個人が判別できないようにすることが大切です。



この時期は特に不適切な投稿が増えやすい傾向があります。こういった投稿に気を付けるべきかということ、学校全体で指導し、投稿する前に不適切なものが含まれていないか確認する習慣をつけるよう、子どもたちに呼びかけていくことが大切です。